

YAMATO Leaf archive



# 葉画家 群馬直美の「葉っぱアーカイブ」vol.18 2022年11月

《葉画家・群馬直美がこれまでに描いた絵とエッセイをお楽しみください》

絵と文 群馬直美

## いつも見つめていてほしい〈ガマズミ〉

木は、いじめられてたくさん実をつける……

おじさんの話は続いていた。

ガマズミの木を目指して歩く……例えば、マツ。

マツは肥沃なところでは、ほかの植物に負けてしまう。

だからどんだん人気の土地から遠のき、

最終的にたどり着いたのが、他の植物には歯が立たない劣悪な環境のところ。

そこなら安心だ。

もう繁殖を邪魔するようなものはいない。

自分さえ頑張ればなんとかなる。

マツは頑張っ、たくさん実を落とす。

貧乏人の子沢山ならぬ、「マツの子沢山」。

リッチで恵まれた環境だと、種(しゅ)が守られていると安心して、

木はあまり実をつけない。

だから、木は多少、いじめてやったほうがいい……とおじさん。

なるほど。これぞ、モノ創りの根本原理！

ガマズミの木は、もう実を落とし終えていた。

別の日。子供の森で。

大歓声を上げながら、ふわふわドームで子どもたちが、

ぴよんぴよん跳ねている。

5メートルくらい跳ね上がって、宙返りしている子も。

その横にガマズミの木。

暖かな陽射しと子どもたちの明るい笑顔に囲まれて、この間の木より、幸せそう。

ガマズミの実と葉のツーショットな枝に出会うのは、今年はまだ無理とあきらめていた。

ところが、ここにあった。

ニコニコ子どもたちを見つめながら、葉は優しく色づき、実は赤々と燃えていた。

誉められて？ たくさん実をつけるものもある？！

ガマズミの花言葉は、「無視したらわたしは死にます」。

(『木の葉の美術館』1998年発行 掲載より)

## 表紙の絵「ガマズミ」

霜がけて傷んで、そうしてやっと、甘くなる。

子供の森フワフワドーム横にて 2001年11月27日採集

紙/テンペラ size:227mm×158mm

(2002年5月30日完成) © Naomi Gumma

群馬直美 GUMMA NAOMI プロフィール

高崎市生まれ。1982年、東京造形大学絵画科卒業。在学中に新緑の美しさ、その生命力に深く癒された経験から、“葉っぱ”をテーマとする創作活動に入る。「葉っぱの精神—この世の中の一つ一つのものには全て同じ価値があり光り輝く存在である」に則り、1991年テンペラで克明に描く現在の作風に至る。著書に『言の葉 葉っぱ暦』『群馬直美の木の葉と木の實の美術館』他。東京都立川市在住。  
<https://www.wood.jp/konoha/>

建設プロダクト  ヤマト

株式会社ヤマト 総務部広報室

2022年11月発行

〒371-0844 群馬県前橋市古市町118 TEL.027-290-1800(代) FAX.027-290-1896

ヤマトホームページ [www.yamato-se.co.jp](http://www.yamato-se.co.jp)